

表彰受賞おめでとうございます



文部科学大臣 優秀教職員表彰

青木 友宏さん (矢板中)

平成元年から公立小中学校教諭を務め、平成 26 年からは、矢板中学校主幹教諭として校内の調整に尽力しながら、教員の意識改革に努めました。



栃木県中学校総合体育大会 スキー競技第 4 位

北條 智泉さん (矢板中)

県の予選を上位で通過し、2月6日に北海道富良野市で行われた、全国中学校体育連盟スキー大会に出場しました。



統計調査農林業センサス 農林水産大臣表彰

野瀧 勝さん (平野)

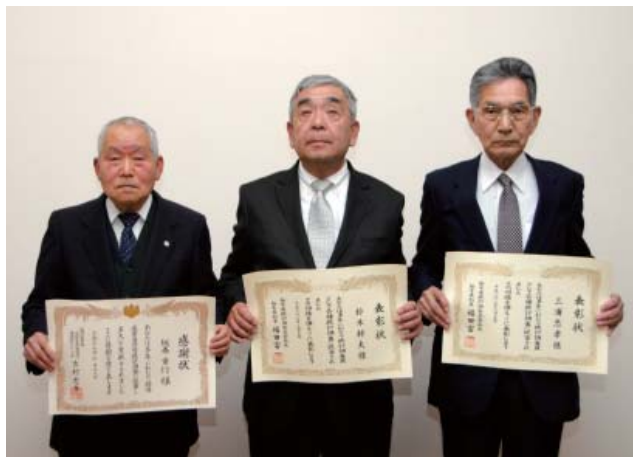
昭和 55 年から農林業センサスをはじめ、各種統計調査に指導員として従事し、統計行政の推進に貢献された功績が讃えられ、受賞されました。



統計調査農林業センサス 農林水産大臣表彰

豊田 文子さん (泉)

昭和 60 年から農林業センサスをはじめ、各種統計調査に調査員として従事し、統計行政の推進に貢献された功績が讃えられ、受賞されました。



経済産業省所管統計調査功労統計調査員に対する感謝状

坂巻 重行さん (木幡：写真左)

平成 17 年から工業統計調査をはじめ、経済産業省所管統計調査に多数従事された功績が讃えられ、受賞されました。

栃木県統計協会名誉会長表彰

鈴木 幹夫さん (山田：写真中) 三浦 忠孝さん (富田：写真右)

多年にわたり、各種統計調査に従事されてきた功績が讃えられ、栃木県統計協会名誉会長表彰を受賞されました。



第 69 回栃木県理科研究中央展覧会並びに中央発表会 最優秀賞受賞

乙畑小学校 6 年生 12 人

児童たちは、11月にひまわりを咲かせることができないかと考え、種の発芽や開花と温度の関係について研究を行い、12月に花を咲かせることができました。この研究結果が、1月25日に行われた塩谷南那須地区理科研究発表会にて優秀賞となり、2月16日に県理科研究中央展覧会並びに発表会に出展しました。

今後は、ひまわりの通年開花や、種まきから開花までの時間短縮の研究を続けていきたいとのこと。

市民力顕彰受賞おめでとうございます

市役所で、市民力顕彰式が開催されました。市民力顕彰とは、矢板市の誇りとなる功績をあげ、市民に明るい夢と希望を与えてくれた個人や団体に対して贈るものです。今回は、右の4団体1個人の方が受賞しました。

市長からは「皆さんのように『市民力』を発揮された活動を広め、時代の変革期を乗り越えていきたい」との話がありました。

※皆さんの周りにも、市民力を発揮し各方面で活躍している方がいましたら、秘書広報課までご連絡ください。

問い合わせ/秘書広報課 ☎ (43) 3764



受賞者	功績概要
栃木県トラック協会塩那支部 矢板地区協議会	多年にわたり、市内小学校の交通安全教室および児童交通安全教室において、交通安全の指導・啓発に尽力し、子どもたちの交通安全に対する意識醸成に大いに貢献されました。
A S A 矢板 齋藤新聞店	読者感謝イベントでの売り上げの一部を育英会に寄附されました。(平成 17 年 10 月から毎月寄附)
ヴェルフェ たかはら那須 U-12	県内主要大会 3 冠、第 39 回全日本少年サッカー大会栃木県大会で優勝されました。(初の全国大会に出場)
矢板中央高等学校 サッカー部	第 94 回全国高校サッカー選手権大会栃木県大会で優勝されました。(3 年連続 7 度目の全国大会に出場)
大谷 章	多年にわたり、自然の材料を利用したキャラクター人形を制作展示し、交通安全等の啓発活動を行い、安全安心なまちづくりに取り組まれました。

2/7 (日) 普段見られない白銀の世界

山の駅たかはらで、スノーシューハイキングが行われました。このイベントは、冬場に八方ヶ原への来客者が減少することから、人が集まれるような機会をつくり、冬場の雪山の楽しさを伝えるために行われているものです。

22 人の参加者は、山の駅たかはらをスタートし、冬場は車での立ち入りが制限されている大間々駐車場までの木道約 3km を 3 時間かけて往復しました。ガイドを担当した矢板岳友会の小林さんは、「雪のおかげで、普段歩けないところも歩くことができる」と話していました。



2/9 (火) 建設機材に触れる

川崎小学校で県建設業協会塩谷支部建青会による体験型の総合学習支援活動が行われました。この活動は、普段間近で見ることができない重機の体験搭乗などを通して、建設業の仕事の内容や役割、魅力を児童たちに伝えることを目的としています。授業は、全校児童が参加し、建青会の説明を受けながら、高所作業車やショベルカーなどの重機に触れ合いました。

参加した児童は、「空き缶が簡単につぶれた」「高くまで昇れた」など楽しそうに大きな歓声を上げていました。



2/13 (土) 後輩に引き継がれた伝統

鹿沼市サンエコ自然の森サッカー場で、栃木県高等学校サッカー新人戦の決勝戦が行われ、矢板中央高等学校が見事優勝しました。前半 36 分にフリーキックから先制するも後半 12 分に同点とされ、一進一退の攻防に。後半 27 分に、相手のクリアミスを持った MF 呉晴樹さんがミドルシュートを決めて勝ち越し、そのまま逃げ切りました。年末年始に行われた全国選手権では、先輩たちが 16 強の成績を収めました。新チームは真下主将を中心に全国制覇を目指して、新たな一歩を進み始めました。



2/17 (水) 福祉について考える

文化会館小ホールで、「矢板市福祉のつどい」が開催されました。このつどいは、日ごろボランティアや慈善活動などを行っている方を顕彰することや、福祉をもっと身近なものとして考えてもらうことを目的として開催されており、今年で 10 回目を迎えます。オープニングアトラクションに続き表彰式が行われ、その後、「ほっとけ心のアップレ介護」と題し、講談師の田辺鶴瑛さんから、自身の介護体験談を踏まえた心温まる介護にまつわるエピソードが話されました。



2/20 (土) 矢板の歴史家を学ぶ

生涯学習館で、「歴史講演会」が開催されました。この講演会は、郷土の歴史や文化財に対する理解を深めるために開催しているものです。県考古学会顧問の竹澤謙先生を講師に招き「郷土史研究家 丸山瓦全と矢板の人々 ～鈴木陽吉や伴内万寿との関わり～」をテーマとしてお話をいただきました。竹澤先生は、郷土史の研究で全国に名を馳せた丸山瓦全と志を同じく研究にまい進した人物が、矢板市にも居たことをさまざまな事例を基に話してくれました。



2/28 (日) みんなで作るひなまつり

泉公民館で、「ひなまつり」が開催されました。このまつりは、公民館の自主講座「つるし雛づくり教室」と「布あそび教室」の受講生、泉保育所園児や市内グループなどのつるし雛、おひな様に関する作品や雛人形等を展示し、地域の魅力を広く伝えるものです。つるし雛は、縁者から女の子が生まれたお祝いとして着物の切れ端などを使い贈られたもので、健康祈願や魔除けの効果があるとされています。期間中、色とりどりに飾られた会場には多くの方が訪れていました。



3/6 (日) 地域の火災を予防しよう

市内各所において、市消防団による消火訓練が行われました。この訓練は、3月1日から7日までの春の全国火災予防週間中に毎年行われているもので、今年は各地域での火災を想定し、各分団ごと6カ所所で放水消火訓練が行われました。また、本部分団においては、災害や事故を想定し、チェーンソーの操作訓練が行われました。訓練後の講評では、「地域を守るのは皆さんです。地域の実情をよく理解している皆さんの手で、速やかに初期消火に取り組んでほしい」との話がありました。



3/12 (土) やいたみんなのつどい

文化会館大ホールで、「やいたみんなのつどい」が開催されました。このつどいは、魅力と活力のある地域づくりを目指し、健康で豊かな人間性を育むことを目的として開催されているもので、今年で 31 回目を迎えます。式典後、実行委員の皆さんから、男女共同参画のクイズや今までの活動報告が行われました。その後は、長淵悦子さんが、「これまでの私、これからの私」と題し、個々の皆さんが健康でいきいきと生活することの素晴らしさを話されました。また、花活けのパフォーマンスも行われ、会場を大いに沸かせていました。



3/13 (日) 震災からの復興を祈る

道の駅やいで、東日本大震災の復興イベントが開催されました。このイベントは、震災から 5 年を迎えても継続的に被災地を支援していこうと開催されているものです。寄付者に対して、矢板の食材をたっぷりとしたもつ煮や、つきたての餅が提供され、直売所内では、福島県いわき市の水産加工業者による「復興支援販売会」も行われました。このイベントで集まった 178,386 円は、福島県を通じて被災地に寄付されました。



3/13 (日) 地域みんなの酒蔵まつり

片岡地区大槻の富川酒造で「酒蔵まつり」が開催されました。このまつりは、毎年新酒が出そろう 3 月上旬に、お客様と地域の皆さんとともに新酒の完成を祝して行われているものです。普段見ることのできない酒蔵の見学会や、利き酒コンテスト、お楽しみ抽選会、新酒の販売会などに、県内外から約 1,100 人が訪れました。また、音が響く酒蔵の中で、歌手による民謡ショーやスライドショーが行われるなど来場者は思い思いにまつりを楽しんでいました。

